

内科 II（旧：第二内科）に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA 並び MPO-ANCA)の臨床的意義に関する研究

[研究機関] 北海道大学病院内科 II

[研究責任者] 渥美 達也（内科 II・教授）

[研究の目的]

抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA 並び MPO-ANCA)は、ウェゲナー肉芽腫症(WG)、顕微鏡的多発血管炎(MPA)、シャーグストラウス症候群(CSS)などの血管炎症候群の患者さんで陽性となることが多く、診断ならびに治療効果の判定に重要な臨床検査です。しかし、測定方法によっては抗体価にばらつきがあります。本研究では、抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA 並び MPO-ANCA)の各測定キットの有用性を検討するために行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2005年1月以降2012年12月までに北海道大学病院内科II（旧：第二内科）で、ウェゲナー肉芽腫症(WG)、顕微鏡的多発血管炎(MPA)、シャーグストラウス症候群(CSS)、およびその他の血管炎症候群と診断された方で、「MPO-ANCA関連血管炎に対する標準的治療プロトコルの有用性を明らかにする前向き臨床試験」、「難治性ANCA関連血管炎に対するリツキシマブの有用性の検討」、「抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解導入治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究」用に血液の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：血液（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

カルテ情報：患者さんの基本情報(年齢、性別)、診断名、罹患臓器、治療内容、各種臨床検査成績(血液検査、画像検査など) など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。ご提供いただいた検体を検査機関に送付する場合も同様です。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

担当医師(研究代表者)

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院内科 II 教授 渥美 達也

内科 II 医局 011-706-5915 (直通)、内科 II 外来 011-706-5753 (直通)